

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 新基地建設 NO! 県民大行動に 750 人結集



「オール沖縄会議」は1日、辺野古新基地建設中止を求める「県民大行動」をゲート前で4か月ぶりに開きました。約750人が国道沿いに「新基地反対」などののぼりやパネルを掲げて結集しました。(写真)

「オール沖縄会議」の高里鈴代共同代表が「国の仕打ちに真っ向から決意を表明してきた。県民の意思は衰えていない」と挨拶。デニー知事(別項)や伊波洋一参院議員、翁長雄治那覇市長予定候補、与党県議団代表などが挨拶。全県各地島ぐるみ会議を代表して南部、中部、北部の各代表が決意を表明しました。

**オスプレイ配備10年に抗議**

この日は普天間にオスプレイが強行配備されて10年目。普天間爆音訴訟団の新垣清涼団長が「沖縄ではパイロットの顔が見えるほどオスプレイが低空を飛んでいる。抗議の声を全国に広げよう」と訴えました。

デニー知事「マキテーナイビランドー」

2期目の当選を果たした玉城デニー知事(写真右)は「選挙戦で県民が辺野古埋め立て反対の意思を示していることを何度も訴えてきた。辺野古に基地は造らせない。勝つまで諦めない。マキテーナイビランドー(負けてはいけないよ!）」と訴えました。



## 豊見城市長選 「オール沖縄」の山川ひとし候補が出発式

豊見城市長選が2日告示され(投票日23日)、2期目をめざす「オール沖縄」の山川ひとし候補が出発式を行いました。デニー知事が「市民が主役の街づくりで実績上げた山川氏に2期目もかじ取りを」と訴え、赤嶺政賢衆院議員は「統一協会から応援されている相手候補に絶対負けるわけにはいかない」と訴えました。山川候補は「市民に寄り添い、子どもたちが笑顔でいられるまちをみんなでつくっていききたい。デニー知事とともに誰一人取り残さない社会をめざす」と力強く第1声推薦候補との事実上の一騎打ちです。



出発式では、山川氏、デニー知事、翁長那覇市長予定候補がタッグを組み、知事選、豊見城市長選、那覇市長選をホップ、ステップ、ジャンプで3連勝をめざそうと誓い合いました。



## 那覇市長選 翁長前知事の遺志裏切る相手候補 盛り上ったオナガ候補必勝めざす女性集会

那覇市長選(16日告示、23日投票)でのオナガ雄治(たけはる)候補の勝利をめざす女性集会が1日、那覇市内で開かれ会場あふれる180人で盛り上がりしました。高里鈴代氏や那覇市内の各界女性の代表がそれぞれオナガ候補への期待の声を述べました。赤嶺政賢衆院議員も挨拶しました。オナガ候補は「デニー知事と一緒に大きな政治、行政のうねりを作っていきたい」と決意を述べました。城間市政で副市長を務めた相手候補が「私はもともと保守。市政は自民公明と協力が必要」と語ったことに「市民をだまし続けてきたのか」、「翁長前知事の遺志を裏切った」と怒りの声が上がりました。



デニー知事が「誰一人取り残さない県と那覇市を力合わせにつくっていく」と挨拶。同時に行われる市議補選に立候補するナガヤマ盛太郎氏も決意を述べました。(写真前列中央、昌子夫人、ナガヤマ氏)

## 「日中国交正常化50年」でミニ講演 ゲート前で内田雅敏弁護士

日本と中国の国交正常化から50年目の9月29日、ゲート前テント村で東京・四谷総合法律事務所の内田雅敏弁護士がミニ講演を行い、約70人の県民が聴講しました。内田さんは1972年の日中共同声明など日中間で結ばれた4つの基本文書を解説。「これらの基本文書に立ち返り、両政府は平和外交と対話に向かうべきだ。台湾海峡が有事になれば間違いなく沖縄は再び戦場になってしまう。『両国間の国交を正常化し、相互に善隣友好関係を発展させることは、両国民の利益に合致し、アジアにおける緊張緩和と世界の平和に貢献する』という日中共同声明の精神に立ち返ることが必要だ」と強調しました。



ゲート前で「日中友好・不再戦」の横断幕を掲げる内田弁護士(左端)など